

みんなの 声 ひろば

大山町に

嫁いで

下嶋 由佳



(文珠領)

大山町に嫁いで一年が過ぎました。まず感動したことは、星空がとてもきれいだという事です。私は米子に勤めているのですが、一日の仕事が終わり疲れて帰ったときに、この星空を見上げると心が癒され、ほっとした気が

持ちになれます。他にも通勤などで利用している農道からの風景にも癒されます。両脇にある田んぼは、秋になると黄金の穂が豊かに実り、見わたす限りそれが続きます。私の好きな風景の一つです。そして何よりも町の

人たちが、あたたかくやさしいことに感動しました。出会うと必ず声をかけ話しかけてくださったり、近所からは旬の野菜が届いたりします。私はこの町に嫁いできて本当に良かったと思っ

て、これからも自然や人が、地域に先駆け海に関するイベントとして「ふるさと海のまつり」を開催したこともありまし

あとがき

議会も選挙後2年が過ぎ、各委員会は委員の入れ替えを行いました。議会と町長（執行部）との関係は、二元代表制であり、常に対立なり、チェック、アンド、バランスの関係にあるので機関対立型といわれています。

さて、予定より遅れた議会放映は、九月定例会から始まり、茶の間で町民の厳しいチェックが行われることでしょう。

広報に対しても様々なご意見をお寄せください。

イベントへの

おもい

岩本 正人



(植松)

合併をして三年経過しました。最近になって交流も進み旧三町合同での取り組みがなされています。私も長い間中山地区で、イベント関係に携っています。以前、県内では初めての試みだと思っています

が、地域に先駆け海に関するイベントとして「ふるさと海のまつり」を開催したこともありまし

今後は、増々の交流の場を広げ、町民一体となったイベントを計画したいものと思うこの頃です。

届いた 住民の願い

椎木 令子



(種原)

この四月からスクールバスの運行を実施して頂き、本当にありがとうございます。例えば一年生になった孫娘が、朝六時半には家を出て、二・五キロの山間の道をバス停まで歩くのですが、恐ろしい事件が続いていただけに心配

で心配で、どうにかならないものかと毎日のように家族で話していました。まだ幼い子供のいる近所の若いお母さん達も「今から心配しているんですよ。」と不安顔でした。こ

「行って来ます。」と熊よけの鈴を鳴らし、元気がよく駆け出していく三年生と一年生の孫達、時計を見ると七時二十五分。朝の一時間の違いの中には皆の喜びと安心が詰まっています。

《広報委員会》

委員長	西尾 寿博
副委員長	遠藤 幸子
委員	岡田 聡
委員	諸遊 肇司
委員	吉原美智恵
委員	近藤 大介